



# プランタン管弦楽団 第14回定期演奏会

PROGRAMME

D. チマローザ 歌劇「秘密の結婚」序曲

S.V. ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第3番 二短調 op.30

A. ドヴォルジャーク 交響曲 第8番 ト長調 op.88

指揮 ● 中村 暢宏

ピアノ独奏 ● 前田 祐里

2015 7.5 12:45 開場  
13:30 開演

愛知県芸術劇場コンサートホール [地下鉄栄駅より徒歩2分]

全自由席 500円

チケットぴあ tel 0570-02-9999 Pコード [256-689] URL <http://t.pia.jp/t>  
チケットぴあスポット、サークルK、サンクス、セブンイレブン各店でも直接お買い求めいただけます  
愛知芸術文化センタープレイガイド tel 052-972-0430  
名古屋市文化振興財団チケットガイド(ナディアパーク8F) tel 052-249-9387  
その他プレイガイドにて発売

主催 ● プランタン管弦楽団 公益財団法人日本交響楽振興財団  
後援 ● 名古屋市 名古屋市教育委員会 公益財団法人名古屋市文化振興事業団  
中日新聞社

お問合せ ● 080-3668-4058 プランタン管弦楽団  
URL <http://orchestraprintemps.com/> E-mail [printemps0163@yahoo.co.jp](mailto:printemps0163@yahoo.co.jp)

小さなお子様のご鑑賞は他のお客様の迷惑にならないようお願いします  
◎ 託児サービスのご案内 ※7/2(木)までにお申し込みください  
託児料金: お子様お一人につき 1,000円  
お申し込み・お問合せ: トットメイト tel 0120-01-6069 (9:00-17:00)



**RING!RING!**  
プロジェクト  
競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助金を  
受けて実施します。

<http://ringring-keirin.jp>





第13回定期演奏会 伊藤康英：管弦楽のための交響詩「くるりよざ」他 2014.7.27 愛知県芸術劇場コンサートホール



ブランタン管弦楽団は、2000年に結成されたアマチュアオーケストラで、出身地や職業が多様なメンバーで構成されています。毎年夏に定期演奏会、隔年冬にウィンターコンサートを開催しています。近年の定期演奏会では、定番のシンフォニーの他、邦人作品をはじめレアな楽曲にも取り組んでいます。今回は、ピアノ独奏に名古屋出身の前田祐里さんを迎え、難曲といわれるラフマニノフの協奏曲第3番、隠れた名曲を数々残したチマローザの作品をお届けします。是非ともご来場くださいますようお願いからお待ちしております。



Yuri MAEDA



Nobuhiro NAKAMURA

## ピアノ独奏 ● 前田 祐里

名古屋市立菊里高校音楽科卒業後、ヤマハ音楽支援制度の奨学金を受け渡独。翌年、マンハイム音楽大学ロベルト・ベンツ教授のクラスに入学、2009年2月に満場一致の最優秀の成績で卒業する。2008年2月にイタリア・ミラノTeatro Dal Vermeにてソロリサイタルデビュー。これまでに様々な国際コンクールで入賞の他、ヨーロッパ各地にてリサイタル、又オーケストラと共演する。2009年より2年間ライオンズクラブ・マンハイム、2011年よりスイスDOMS奨学金を授与される。2013年1月マンハイム音楽大学ソリスト科を修了、国家演奏家資格を取得。10年のドイツ生活を経て2013年に帰国し、翌年CDデビュー、NHK-FM リサイタル・ノヴァ出演。現在は名古屋を拠点に演奏活動、また後進の育成にも力を注いでいる。これまでに、大口光子、柴田道夫、ロベルト・ベンツ各氏に師事。オフィシャルウェブサイト <http://yurimaeda.com>

## 指揮 ● 中村 暢宏

1973年東京都生まれ。1996年愛知県立芸術大学（ヴィオラ専攻）卒業。これまでに指揮法を宮松重樹、河津政實、田久保裕一、秋山和慶、A.ポリシュク、V.シナイスキーの各氏に師事。ヴィオラ奏者として、中部フィルハーモニー交響楽団トップ奏者を務めるなど各地のオーケストラで活動。指揮者としては、国内での活動に加えて、2007年にロシア・サンクトペテルブルク、2012年にブルガリア・プロヴディフにおける公演、2013年にはウィーン楽友協会にてベートーヴェンのミサ・ソレムニスを指揮。これまでに愛知室内オーケストラ・ミュージックアドバイザー、一宮市消防音楽隊常任指揮者などを歴任。現在、ブランタン管弦楽団常任指揮者、名古屋アマテウス室内管弦楽団音楽監督、名古屋市民吹奏楽団常任指揮者、椋山フィルハーモニーオーケストラ指揮者、愛知工業大学管弦楽団指揮者など数多くを務める。名古屋フランス音楽研究会員。



D.Cimarosa  
1749-1801 Italy



S.V.Rachmaninov  
1873-1943 Russia



A.Dvořák  
1841-1904 Czech

## チマローザ ● 歌劇「秘密の結婚」序曲 Il matrimonio segreto, ouverture

同時代を生きたW.A. モーツァルト(1756-1791)と比較されることが多い。作品において、「秘密の結婚」はイタリアを舞台としたチマローザの代表的な歌劇であり、モーツァルトにはスペインを舞台とした「フィガロの結婚」がある。

## ラフマニノフ ● ピアノ協奏曲 第3番 Piano Concerto No.3 D minor op.30

多くの作曲家は苦悩に満ちた人生を送っている。ラフマニノフもその一人だが、立ち直ることがなければ後の名声は得られない。転機となったのはピアノ協奏曲第2番の成功であり、その後おおむね順調な音楽活動を展開する中で作曲された第3番は、洗練の極みといえる作品である。

## ドヴォルジャーク ● 交響曲 第8番 Symphony No.8 G major op.88

作曲家を喜怒哀楽に例えると「哀」の代表はドヴォルジャークだそうだが、それは「ユーモレスク」や交響曲第9番「新世界より」をイメージしているのだろうか。しかし、この交響曲第8番に「哀」は似合わない。確かに切なさを感じさせる美しいメロディも随所に現れるが、全体として牧歌的な情景が描かれ、歓喜的なフィナーレで締めくくられる。